



1.トビタテ!留学JAPANを経て入社したJAL社員。本松(左)と松下(右/共同事業パートナーのアメリカン航空本社にて)。2.トビタテ!留学JAPANの「新・日本代表プログラム」大学生等第15期壮行会。



2

# R REPORT

JALが取り組む新しい空への挑戦を皆さまにお伝えします



## 産学官で未来のグローバル人財を育成! 「トビタテ!留学JAPAN」プロジェクト



SWEDEN

日本の文化を小学生にもわかりやすく!



TANZANIA

インターンシップで中学校教員の方々と交流



KYRGYZ REPUBLIC

キルギスの文化を学びながら日本の文化や言語を伝える



GERMANY

技術力を高める社会システムを研究!

グローバルな視点を養い、日本と世界をつなぐリーダーを育てるといふ点で、私たちの考えと一致していました」と語るのはJAL人事部採用グループの高橋且泰(かつひろ)です。

### 価値創造を担う人財とは?

「JALグループでは新たな価値の創造に向けて多様な価値観を持つ人財を広く募集し、採用・育成を行っています。価値創造を実現するには、バックグラウンドや考え方が異なる人との「コミュニケーション力」や「傾聴力」、「柔軟性」といった力が必要になります。学生時代の海外留学は、そうした力を得る大きな機会だと感じています」(高橋)

では採用選考を留学生にも挑戦しやすい時期に設けており、これまで11人のトビタテ!留学JAPAN奨学生を採用しています。「トビタテ生」で、JALレベルニューマネジメント推進部の松下祥子(のりこ)、客室乗員部の本松千波(ちなみ)は、こう語ります。

「インターンシップやボランティアなど、実践活動を含む留学を支援するトビタテ!のプログラムに惹かれて応募しました。バンクーバーでこれまでと大きく異なる考えや背景を持つ人々と交流したことをきっかけに、世界中の人やモノをつなぐ仕事がしたいとJALに入社しました。現在、海外地区スタッフや他社パートナーとのコミュニケーションで、当時の経験が生きていると感じます」(松下)



▲「トビタテ生のようなグローバルな方に当社に興味を持っていたら」と、採用担当の高橋。

### 飛び立つ気持ちを応援!

文部科学省を主体とした官民協働プロジェクト「トビタテ!留学JAPAN」という留学促進キャンペーンをご存じでしょうか?

意欲と能力のある日本の全ての大学生や高校生が、海外留学へ一歩踏み出す機運を高めることを目的に2013年にスタートし、2022年度までの「日本代表プログラム」で約9500名が、海外での多様な経験を経て、グローバルな人財へと成長しています。

JALグループはこの活動に賛同し、2014年度から同プロジェクトを応援。24年度からは第2ステージに入ったプロジェクトを新たな形で応援しています。「当社の航空事業はグローバルに社会をつなぎ、また日本文化をグローバルに広げる役割を果たしています。トビタテ!の留学支援は



定住旅行家  
ERIKOさんも  
海外留学を応援!

「初めて海外へ行ったのは、やりたいことが見つからず、行き詰まっていた高校生の時でした。不安もありましたが、海外で出会ったのは、知らなかった自分の一面。こんなことが好きなんだ、興味を惹かれるんだという発見がありました。人生の早い時期に飛び出してみる経験は、その後の人生の決断への大きな後押しとなると思います」  
<http://chikyunokurashi.com>

「トビタテ!は留学内容を自ら組み立てるため、次々と壁が立ちほだかりましたが、何とか留学を叶えられました。イギリスでは国際関係学を学びながらチャリティイベントやイベント運営を経験し、オーストラリアでは地学分野のフィールドワークを行いました。文化や習慣の違いに戸惑いながらも次第に固定観念が薄れ、多様な価値観や考えを尊重できるようになりました。この経験やつながりは客室乗務員となった今も、日々の業務や社内でのビジネス創造活動、学生への支援といった取り組みの原動力になっています」(本松)



トビタテ!留学JAPAN  
について詳しくはこちら